

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

紅葉の中 (悦)

今回は、沢沿いの小径、南コースを通過して池へ、帰りは野鳥の小径を使いました。南コースはコナラが多くみられるコースです。ちょうどコナラの紅葉が始まった所、ちょっと色が足りませんが、茶色に色づいた木々に包まれ、散策路を埋める落ち葉を踏みしめて、心地よい観察になりました。森は、冬支度です。エゾエノキの葉も茶色に縮れて落ちそうです。エゾエノキを食草とするオオムラサキの幼虫も、木の枝から根元に引っ越しが完了したようです。根元の落ち葉を持ちあげて見ると、幼虫が観察できました。市民の森も15日にクローズします。また、来春、出会えることを期待しています。



特徴ある落ち葉 (古)

観察会、楽しく参加させていただきました。以前から、目につきやすい朴ノ木の落ち葉があると必ず樹を見つけていました。今回、他にも特徴ある落ち葉について学びました。葉柄が扁平のヤマナラシ、銀色っぽい黒色の葉と鮮やかな紅色葉柄のミズキ、色が抜けた葉が優しい薄緑のコシアブラなど新鮮でした。



今回のトピック、オオムラサキの越冬幼虫。食草のエゾエノキが市民の森に多く育っていることに感動。たくさんの落ち葉が土に返り、植物が育つ。が、それぞれ個々が工夫を凝らし子孫を残している。森には興味深いことが盛りたくさん。来年の春が楽しみです。



蓼科山

常緑シダ3種

アスヒカズラ



マンネンズギ



ヒカゲノカズラ

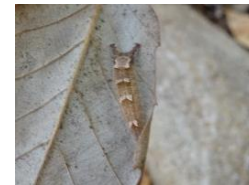


アスヒカズラ

今日観察した動物 (悦)

蝶:②109~118

●オオムラサキ幼虫



蛾:②119、120

●クスサン 繭  
●ヤママユ 繭



ソヨゴ

今年のドングリ (桂)

吉田山にはコナラの木が沢山あり、いつも嬉しく思っていました。ドングリをつい拾ってしまう癖があるのです。今回は、きれいな黄葉が残っていましたが、落ち葉が一面に広がっていたので写真を撮りました。



でも、今年は堅果(ドングリ)がとても少なく、探して拾う気にはなれません。これから厳しい冬がくるというのに…山の生き物が心配です。

今、観察できる花 (悦)

●ヒメジヨオン

今、観察できる果実

●コナラ ●タチドコロ  
●ウリハダカエデ ●センボンヤリ  
●ウバユリ



●クサギ



●ヤマカシユウ  
●ソヨゴ ●サルマメ  
●ガマズミ ●ミヤマガマズミ  
●コバノガマズミ ●オトコヨウゾメ  
●ツルリンドウ



**市民の森秋の模様 (デザイン) (矢)**

錦秋の市民の森⇒散策する人は皆頭上を注目。



でも足元にも素敵な秋の模様 (デザイン) が・・・



岩上のカラマツの落葉 苔上のアカマツの落葉 白い隈取の笹 唐草模様? ヒカゲノカズラ

**「ゆ」に見える枝 (池)**

落ち葉サクサク踏みしめて、毎度不純な動機の参加でしたが、広葉樹は皆落葉するものと思っていた植物音痴の私にはソヨゴの存在は新しい発見でした。

アカゲラは何故キリに、なぜ南向きに巣穴を開けるのか? 「森の縦笛」は不思議な興味深い発見でした。



(口)

おまけは、振り返れば「ゆ」の字の変わった樹形を(口)さんが発見! そう言われればそう見える!



最近、巣箱の入口は開けた方向に開ければ良いと言われています。この穴も開けた方に開いています。集合住宅にするつもりなのではないでしょうか? (悦)



落葉 ミズナラ、コナラ、クリ

**秋 (10月)**

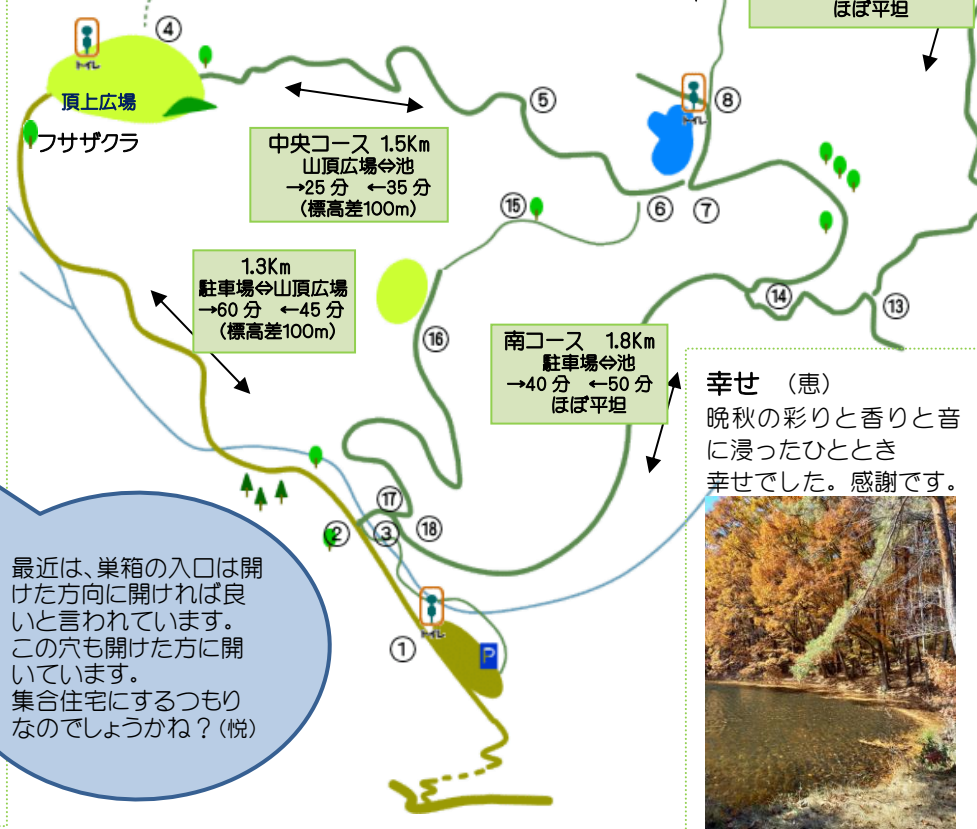
東コース 1.0Km  
池⇄横河口  
→20分 ←25分  
ほぼ平坦

せせらぎコース 1.2Km  
南コースとの分岐⇄横河口  
→35分 ←40分  
ほぼ平坦

中央コース 1.5Km  
山頂広場⇄池  
→25分 ←35分  
(標高差100m)

1.3Km  
駐車場⇄山頂広場  
→60分 ←45分  
(標高差100m)

南コース 1.8Km  
駐車場⇄池  
→40分 ←50分  
ほぼ平坦



**紅葉の仕組み (su)**

出発前に紅葉の仕組みの説明がありました。カエデやツツジなどの葉が赤くなるのは「アントシアニン」が増えるから、ブナなどの葉は「タンニン」が増えて茶色に見える、など、少し物知りになりました。出発早々、葉脈にアントシアニンが集中したかのような葉っぱを発見。実生コナラ(赤ちゃんコナラ)の葉です。大人のコナラの葉は茶色なのに、赤ちゃんだから赤い? ふっと見上げた青空に映える紅葉(黄葉)のグラデーションは素敵でした。



**冬支度 (口)**

・ポタンヅルとタケニグサも、来春に向けて種蒔き(飛ばし)に余念がない。



・今年、クスサン繭は沢山見ましたが、ヤママユは初でした。



・スミレはちゃっかりと木の洞に根付き春を待つようです。



・カメムシも秋色に変身したようです。



**幸せ (恵)**

晩秋の彩りと香りと音に浸ったひととき 幸せでした。感謝です。

